マネーのイロハ

No.9

防災をお金の視点から考える。
災害にまつわるマネーの知識

私たちの暮らしは「防災」と切り離せない関係にあります。食料や生活用品だけでなく、災害後に必要なお金について考えることも重要です。

Illustration_Keiko Katsuyama

教えてくれたのは……

氏家祥美さん

うじいえよしみ／FP事務所ハートマネー代表。遊びゴコロあるライフプランを共につくるファイナンシャルプランナー・キャリアコンサルタント。「お金・いきがい・つながり・健康」のバランスが取れた100年人生をサポートする。金融リテラシーの普及にも努める。

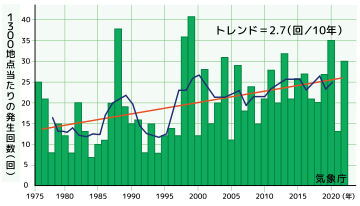
1・自然災害リスクが高まる日本 お金の備えも忘れずに

近年、ゲリラ豪雨や記録的な大雨など、雨の降り方が変わってきたと感じることはありませんか？乾燥した日が長く続いたと思ったら、集中豪雨が相次ぎ、各地で被害をもたらしています。

内閣府が報告する『令和5年版 防災白書』によると、日本の年平均気温は世界平均よりも上昇の幅が大きく、過去100年間で約1.3℃上昇しています。特に1980年代後半から上昇が加速し、それに連動するように全国的に大雨や短時間強雨の発生頻度も増加しています。

左のグラフは、年間で1時間当たりの降水量が80㎜以上となった回数を示したものです。短時間強雨が増加していることが分かりますが、実は同時に日本近海の海面水温も上昇しています。海面水温の上昇は台風の勢力を強め、被害の甚大化リスクを高める要因とされており、将来に向けてこの傾向はますます拡大する恐れがあります。

[全国アメダス]1時間降水量80mm以上の年間発生回数



青の折れ線は移動平均値を、赤の直線は長期変化傾向（この期間の平均的な変化傾向）を示す
出典：令和5年版 防災白書「1時間降水量50mm以上及び80mm以上の年間発生回数（日数）の経年変化（1976～2022年）」

暴風雨や土砂災害のほかにも、大規模地震や、火山噴火のリスクも見過ごすことはできません。私たち一人ひとりが災害への備えをしておく必要があります。防災グッズや食料品の備蓄はもちろんのこと、「お金の防災」も欠かせません。

2・災害後1週間は現金が便利！ 時間の経過とお金の種類

災害に備えるお金は、「災害後1週間以内」「災害後1カ月以内」「生活再建」の3つに分けて用意しましょう。

災害後1週間程度のお金は「現金」で用意します。災害によって停電すると、ATMでお金が引き出せず、スマホ決済なども使えなくなる可能性があります。自動販売機や公衆電話、釣銭が不足した店舗での飲料品や食料品の購入を想定し、小銭と千円札を組み合わせて用意しておくと安心です。

災害後1カ月程度の生活費は、すぐに現金化できる「普通預貯金」が役立ちます。電気・ガス・水道が復旧して落ち着いてくると、医療機関の受診や日用品の買い出しをする人、親戚宅やホテルなどへ移動する人が増え始めます。このころには、ATMでの普通預貯金の引き出しに加え、キャッシュレス決済の利用も可能になるでしょう。

生活再建に必要なお金は、世帯によってさまざまです。自宅の建て替えや補修、家具・家電の買い替えなどに多額の資金がかかる場合があります。また、仕事にすぐに復帰できず、収入が途絶える場合もあるでしょう。あらゆる状況を想定し、保険などでも備えておくのがおすすめです。

時期の目安	準備方法	使い道
災害直後〜約1週間	小銭と千円札	公衆電話、自動販売機、食料品など
災害後約1カ月	普通預貯金	日用品、食料品、医療費、交通費、宿泊費など
災害後1カ月以降	火災保険や金融資産	家具・家電の買い替え、自宅の補修など 生活再建費用、生活費

3・預貯金や保険などの情報を確認し整理しておこう

お金の防災について考える際、次の3つのことから始めましょう。1つ目は、「口座の情報整理」。家族全員の預貯金口座の金融機関名、支店名、口座番号を一覧にし、証券口座やクレジットカードなどの保有状況もリスト化します。身分証明書の保管場所も併せて確認し、避難時に持ち出します。

2つ目は、「保険の情報整理」。加入している保険で、いつどのような保障（補償）を受けられるのかを整理しておきます。病気や死亡に備える生命保険だけでなく、火災保険や地震保険、自動車保険などの確認も必要です。台風や大雨による土砂災害は火災保険の「水災」で、地震による火災は地震保険で、洪水による自動車の水没は自動車保険で備える、といった補償内容だけでなく、証券番号や保険会社の連絡先も一覧にしておきましょう。

3つ目は、「リスクの再確認」。各自治体のWEBサイトなどで、ハザードマップが公開されています。洪水、土砂災害、地震、津波、高潮をはじめどのようなリスクがあるか、どこに避難すればいいかを確認します。補償の過不足があれば、必要に応じて見直すことも大切です。

☑ 口座の情報整理

預貯金口座、証券口座、クレジットカードの確認、身分証明書の場所を確認

☑ 保険の情報整理

加入中の保険の種類や保障（補償）内容を確認

☑ リスクの再確認

ハザードマップでリスクや避難場所を確認する